



NatureKenya

Heatherlea Birdwatching were so enamoured with two Kenyan guides they sent new optics to help them in their work.

Heatherlea バードウォッチング社では、二人のケニア人ガイドに感銘を受け、彼らの仕事に役立てるよう、新しい観察用具を贈りました

BirdLife News-Bytes

20-01-2009

Stories in this BirdLife News-Byte: Kamfers Flamingo-cam; Looking out for Vulnerable gulls; Kenyan bird guides get new optics; Audubon Chair joins Obama administration; Birds of the Wadden Sea Under Threat; Falcon flies south; New Tana website

バードライフのニュース・バイト (コンピュータ情報)

2009年1月20日

今回は7つのニュースをお伝えします。

1) Kamfers Flamingo-cam: 今や2万羽のコフラミンゴの不思議な繁殖行動を世界中で見ることができるようになりました。最新技術によるウェブ画像が Kamfers ダムの有名なフラミンゴが繁殖する島に最近設置され、画像は Africam を通して世界中に発信されています。(このウェブ画像をご覧になるにはバードライフ・インターナショナルのホームページにある当該記事の [Click here](#) のところをクリックしてください)

2) 絶滅危惧Ⅱ類のカモメを探してください: 2008年12月初めに Aves Argentinas (アルゼンチンのバードライフ・パートナー) が 600羽のオルロークカモメの巣立ち雛にカラーリング(足環)を装着しました。バンディングはブエノスアイレス州の最南端のバイア・ブランカで行われました。オルロークカモメは絶滅危惧Ⅱ類に分類されている種で、足環の付いた個体を観察したバードウォッチャーにこの鳥の若鳥の移動を理解する試みへの協力として、その報告を求められています。この情報はオルロークカモメの採餌やねぐらとして利用される場所の特定に役立ちます。観察者はプラスチック製のリングに書かれた3文字の記号を書き留め、gaviotacang@gmail.com に e-mail でお知らせ下さい。

3) ケニアのバードガイドに新品の観察用具が贈られました： スコットランドの Heatherlea バードウォッチング社はバリンゴ湖へのツアーでガイドをしてくれた 2 人のケニア人ガイドの腕前と熱心さに感銘し、彼らの仕事を助けるため 2 つの双眼鏡と新品の望遠鏡 1 台を送りました。「ジュリアスとクリフはそれぞれが片方のレンズの一部だけが役に立つ壊れた双眼鏡を持っていました。そこで私たちは適切な観察用具があれば彼らはもっと上達し、収入も増し、野生生物の保護にも一層貢献すると考え、彼らを支援することを決めたのです。」贈呈について、Heatherlea バードウォッチング社のケビン・ショウ氏はこのように述べています。これらの観察機材はネイチャー・ケニア（ケニアのバードライフ・パートナー）の Daniel Kathurima から二人のガイドに贈られました。

4) オーデュボン協会理事長がオバマ政権に参画： 米国オーデュボン協会（米国のバードライフ・パートナー）理事長の Carol Browner がオバマ大統領から “Climate Czar（気候問題の長官）” に指名されました。彼女は新しいオバマ政権で気候変動とエネルギー政策を主導することになります。Carol Browner は 2001 年 12 月からオーデュボン協会の理事会のメンバーを務め、2003 年 12 月以来理事長職にあります。「Carol Browner の選任はエネルギーと環境政策の統合を指揮し、アメリカを再び地球温暖化に取り組むリーダーの地位に戻すのに素晴らしい選択です。」とオーデュボン協会会長の John Flicker は言いました。

5) Wadden 海の鳥が危機的状況に： MABU（ドイツのバードライフ・パートナー）が危険な状態にある Wadden 海に対する行動計画を要求しました。「もし Wadden 海の保全の方向が可能な限り速やかに変更されなければ、ヨーロッパにおける渡り鳥にとってのこのユニークな環境と中心地が失われます。」と NABU の代表 Leif Miller は言いました。NABU は、この報告書は進行中の気候変動が原因となる損失が Wadden 海には差し迫っており、世界でもユニークな生態系を危うくするという事を明らかにすると信じています。北海およびバルチック海の湿地はヨーロッパの渡り鳥が集まる場所として最も重要で、ドイツはその環境を保全するための国際的にも重要な責任があります。

6) ハヤブサは南に飛ぶ： 一羽のチゴハヤブサのドイツからジンバブエに渡る様子が人工衛星による追跡調査で明らかになりました。ドイツ人の猛禽類専門家の Bernd Meyburg と Klaus Fiuczynski は 5 グラムの太陽電池式の発信機を雌の成鳥に装着し、7,500km の渡りを追跡調査しました。ジンバブエに到着する前に、このチゴハヤブサはアンゴラ南部で長期間過ごしていました。（この件についての詳細はバードライフ・インターナショナルのホームページにある当該記事の [Click here](#) のところをクリックしてください）

7) 新しいタナ川のウェブサイト： タナ川デルタはケニアの 3 つの長大河川で最重要な

淡水系の湿地環境の一つで、地元の家畜飼育者やその他の人々が多数それに依存して生活しています。新しい **A Rocha** の立ち上げたウェブサイトで、計画されている砂糖とバイオ燃料のプロジェクトによるタナ川デルタへの危機の概要が示されています。(ウェブサイトをご覧になり、タナ川デルタに関する情報を入手されるにはバードライフ・インターナショナルのホームページにある当該記事の **Click here** のところをクリックしてください)

英文は→http://www.birdlife.org/news/news/2009/01/news_bytes_jan09_1.html